＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	県産材住宅　横手雪国の家
グループの名称	横手雪国の家研究会
直近採択グループ番号	06-0157-0097

（グループ代表者）

代表者名	齋藤　純司　代表者印
代表者所属先	株式会社　住建
代表者所在地	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1
代表者電話番号	0182-25-4838

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社　住建
事務局担当者名	齋藤　智裕　印
事務局郵便番号	013-0102
事務局所在地	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1
事務局電話番号	0182-25-4838
事務局FAX	0182-25-3487
事務局担当者E-mail	juken@wine.ocn.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	県産材住宅　横手雪国の家
２．グループの名称(必須)	横手雪国の家研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0157-0097
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	秋田県全域
５．結成年(必須)	2017　年
６．グループ代表者名(必須)	齋藤　純司
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社　住建
８．グループ代表者所在地(必須)	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1
９．グループ代表者電話番号(必須)	0182-25-4838
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社　住建
１１．グループ事務局担当者名(必須)	齋藤　智裕
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	013-0102
１３．グループ事務局所在地(必須)	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0182-25-4838
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0182-25-3487
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	juken@wine.ocn.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	合法木材（国外）の場合、念書入手困難につき、構成員(?)の証明で代替えとする。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	1	
Ⅵ．施工	8	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	秋田スギ	秋田県	乾燥秋田スギ認証制度	1	国内

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	4	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	申請確実な物件から優先的に配分する。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
合法木材（国外）の場合、念書入手困難につき、構成員(?)の証明で代替えとする。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
5	Ⅰ － 9	仙北東森林組合		014-1115	秋田県仙北市田沢湖小松字外ノ山4-1	0187-54-1030
5	Ⅰ － 10	本荘由利森林組合		015-0885	秋田県由利本荘市水林381	0184-24-4141
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
5	Ⅱ － 11	秋田ﾌﾟﾗｲｳｯﾄﾞ株式会社		010-0941	秋田県秋田市川尻町字大川友232	0182-823-8511
5	Ⅱ － 12	株式会社黒澤製材所		014-0354	秋田県仙北市角館町水ノ目沢79-1	0187-53-2504
5	Ⅱ － 13	協同組合秋田スギ乾燥センター		014-1115	秋田県仙北市田沢湖小松字外ノ山4-1	0187-55-5121
5	Ⅱ － 14	株式会社宮盛		018-1734	秋田県南秋田郡五城目町大川大川字沖面195	0188-75-2151
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
5	Ⅲ － 15	株式会社住建		013-0102	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1	018-825-4838
13	Ⅲ － 16	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7番22	03-5534-3711
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
5	Ⅳ － 11	秋田ﾌﾟﾗｲｳｯﾄﾞ株式会社		010-0941	秋田県秋田市川尻町字大川友232	0182-823-8511
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
5	Ｖ － 17	株式会社住建建築設計事務所		013-0102	秋田県横手市平鹿町醍醐字下油川76-1	0182-25-4838	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							8	○	○
5	Ⅵ － 1	70822	和幸工務店		013-0106	秋田県横手市平鹿町中吉田字和村7-1	0182-24-2605		○
5	Ⅵ － 2	70782	有限会社　堀江工務店		013-0001	秋田県横手市杉沢字糠塚205-4	0182-33-3392	○	
5	Ⅵ － 3	70754	有限会社　岩村建匠		019-0514	秋田県横手市十文字町睦合字真木80-3	0182-44-5301	○	
5	Ⅵ － 4	70713	小野寺建築有限会社		013-0104	秋田県横手市平鹿町樽見内字小豆田３１６番地１	0182-24-1891	○	
5	Ⅵ － 5	70683	株式会社辰巳ホーム		019-0509	秋田県横手市十文字町梨木字海道下89-3	0182-55-2888	○	
5	Ⅵ － 6	70765	有限会社　佐藤工務店		013-0212	秋田県横手市雄物川町造山字十足馬場３８番地１	0182-22-5310	○	
5	Ⅵ － 7	70692	近藤建築		012-0055	秋田県湯沢市山田字福島尻66-13	0183-55-8313	○	
5	Ⅵ － 8	70647	株式会社　高俊		012-0000	秋田県湯沢市深堀字高屋敷28-2	0183-73-7821	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
5	Ⅵ－ 1	70822	和幸工務店	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ－ 2	70782	有限会社 堀江工務店	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ－ 3	70754	有限会社 岩村建匠	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
5	Ⅵ－ 4	70713	小野寺建築有限会社	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ－ 5	70683	株式会社辰巳ホーム	40 戸	120 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
5	Ⅵ－ 6	70765	有限会社 佐藤工務店	3 戸	6 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
5	Ⅵ－ 7	70692	近藤建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
5	Ⅵ－ 8	70647	株式会社 高俊	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 県産材住宅　横手雪国の家	（地域型住宅供給対象地域） 秋田県全域
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） 横手雪国の家研究会	（結成年） 2017　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0157-0097	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	盆地のため、夏場の暑さ、冬場の大雪の問題に対して耐震性を重視する設計。また地域住民高齢化に伴い、懸念される冬場の温度差によるヒートショックによる死亡事故。ヒートショック対策としてH28年省エネ基準（断熱等級4）を最低レベルとする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地質状況に応じた地質調査を実施する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	雪下ろしを考慮した屋根形状・勾配とする。（非住宅は除く）	◎
④ ①～③の背景	盆地のため、夏場は非常に高温となり、冬場は厳しい寒さと大雪に見舞われる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造部（土台・柱・梁・桁）に関して、仕様の統一化を図る。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内で標準仕様を検討し、省エネ機器の絞り込みを行う。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：躯体に関して標準仕様を決定している。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内にて共通仕様に基ずく共同購入により、必要性能の確保と低コスト化を図る。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：施工構成員から物件情報を定期的にヒヤリングし、商品を適切に確保する。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内に検討委員会を設置し、委員長を建材流通構成員から選出する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：事務局は商品情報や施策情報を収集し、施工構成員に周知させる。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：共通仕様、標準図をもとに施工し、引渡し時に竣工図を提出する。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：地質状況に応じた地盤調査を行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：見積りは、極力専門用語は、避け、消費者にわかりやすい内容とする。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：対象物件については、構造見学会や完成内覧会を出来る限り実施し、消費者にグループの取組みをアピールする。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が中心となり、グループ全体として週休2日制を導入する。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が中心となり、グループ全体として技能や経験にふさわしい処遇（給与）を実現する。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が中心となり社会保険加入の徹底に向けた環境を整備する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：事務局が中心となり、（社員の健康第一）と考え、職場環境を整備する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		123			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）県産材住宅　横手雪国の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）横手雪国の家研究会	（結成年）2017　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0157-0097	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	住宅履歴情報機関への登録を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：	ジャパン建材（株）（住宅履歴の図書館）に保存・蓄積する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	施主、施工構成員が、共通IDを持ち、事務局も共有する。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	共通の維持管理計画書を使用し、それに基ずいて行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	大規模な自然災害が発生した際には、応急点検・補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	受領書に施主からサイン、押印をもらい、事務局に提出する。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	事務局で企画をけんとうする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	事務局で企画をけんとうする。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	建材流通構成員と協力し、住宅相談会を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：	共通の維持管理計画書に基ずいて、事務局が中心となり勉強会を実施する。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	瑕疵保証以外に保険会社が提供する延長保険サービスを提案する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：	維持保全が実施できない場合、事務局が代替会員を斡旋し実施する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない	□ ある →	内容：	瑕疵保険会社に依頼して、勉強会を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。							

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：	定期的な勉強会や、補助対象現場を利用した見学会を行う。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	共通仕様、標準図をもとに施工し、引き渡し時に竣工図を提出する。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	建築図面、又は現場写真を事務局に提出する。	◎
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある →	内容：	商品を安定的に供給するため、施工構成員から定期的な受注見込をヒヤリングする。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	建材流通構成員や事務局が連携し、低炭素社会対応に向けた勉強会を行う。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない	□ ある →	内容：	設計構成員は、外皮計算、一次エネルギー消費量計算を習得し、施工構成員を支援する。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　4人		今年度の参加目標人数　4人		◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4人		今年度の参加目標人数　4人		◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	事務局が未受講者に対し、講習会実施日を案内し参加させる。	◎
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	事務局と建材流通構成員が連携し、新商品情報の収集に努め、性能について検証を行う。	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	開発は、行っておりません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。							

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）県産材住宅　横手雪国の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）横手雪国の家研究会	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0157-0097	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材につき、次の証明制度を利用する。土台・合法木材証明制度（国内・国外）柱・合法木材証明制度（国内・国外）梁・桁・合法木材証明制度（国内・国外）乾燥秋田スギ認証制度。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	○
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給構成員→製材・集成材・合板構成員→プレカット構成員→建材流通構成員→施工構成員→設計構成員　合法木材（国外）製材・集成材・合板構成員→プレカット構成員→建材流通構成員→施工構成員	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が、原木、流通事業者と情報交換を定期的に行い、グループ内で情報共有する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　事務局が、原木、流通事業者と情報交換を定期的に行い、グループ内で情報共有する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施工構成員から定期的な受注見込をヒヤリングし、事務局が受給予測を策定する。	○
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　雪下ろしの負担軽減を考慮した屋根勾配を提案する。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　住民の高齢化に伴い、ヒートショック対策を考慮した断熱性を保持する。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　地域の景観になじむような設計計画を心かける。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　施主の要望がある場合提案する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		地域産業の活性化・継承のため、若手大工、事業継承者に対する研修会等を実施する。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	情報提供等、出来る事で貢献できればと考えております。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	情報提供等、出来る事で貢献できればと考えております。	○

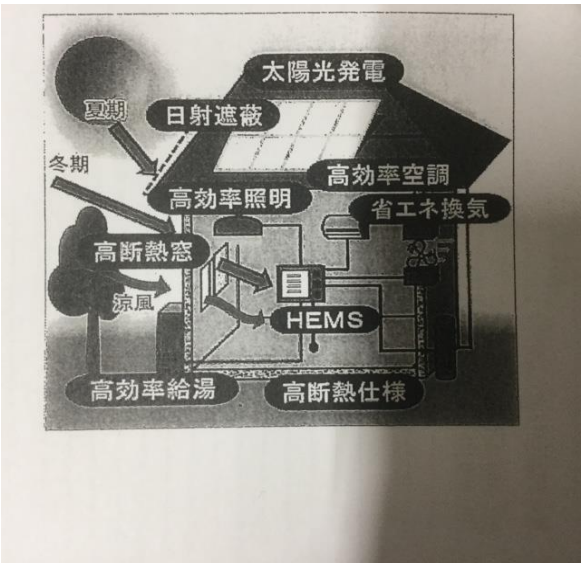
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）県産材住宅　横手雪国の家	（地域型住宅供給対象地域）秋田県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）横手雪国の家研究会	（結成年）2017 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0157-0097	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。